日南市内企業景況調査報告書
令和５年７月～9 月

１．実施概要
（1）回答企業数
回答企業数　　３４社

業種別
製造業　　７社
建設業　　８社
卸売業　　３社
小売業　　７社
サービス業　　９社
合計　３4 社

（2）実施時期　令和５年７月～9 月期

（3）調査内容
調査対象の第２四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の項目ごとに景況感を調査した。

（4）調査対象
日南市内の製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の５業種で合計３4 社を調査対象とした。

（5）調査方法
日南市内の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を FAX 等で返信していただき、調査結果を集計し分析する。

（6）その他
業種別の結果については日南商工会議所ホームページにて掲載。

２．調査結果（ＤＩ）

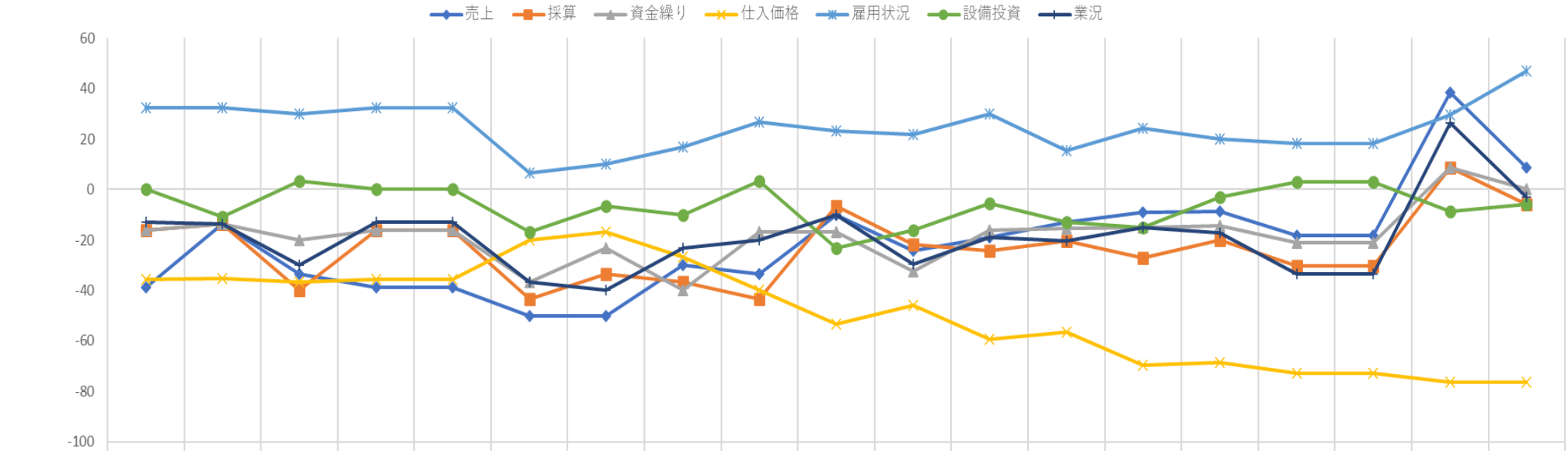
ＤＩとは（景況判断指数）とは

ＤＩは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値は景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナス値は景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

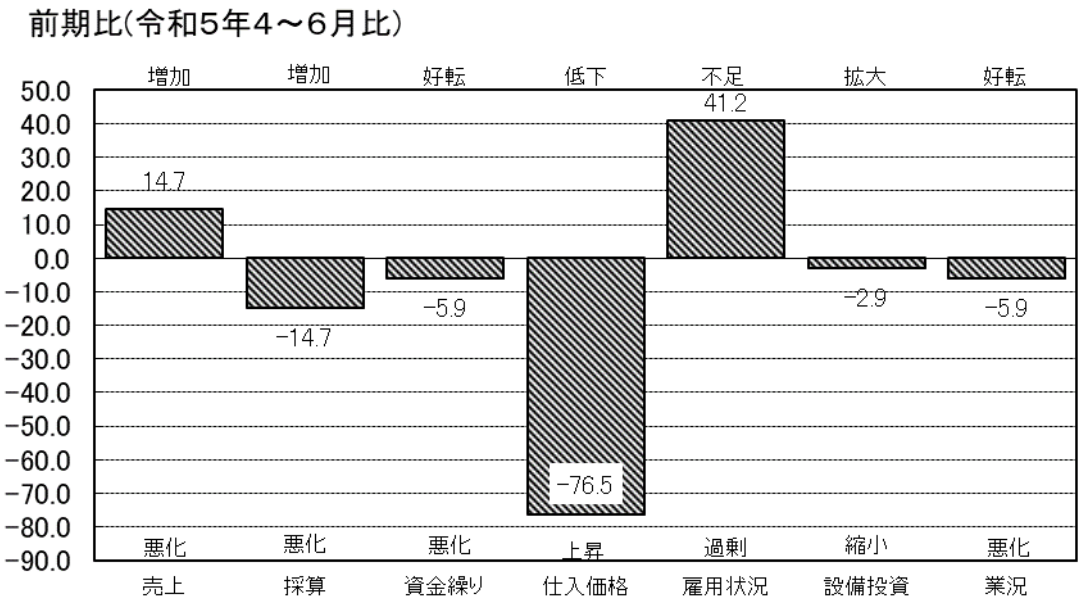
売　　上 DI	＝	（増加回答の割合）		－	（減少回答の割合）	
採　　算 DI	＝	（好転	〃	）	－	（悪化	〃	）
資金繰り DI	＝	（好転	〃	）	－	（悪化	〃	）
仕入価格 DI	＝	（下落	〃	）	－	（上昇	〃	）
雇用状況 DI	＝	（不足	〃	）	－	（過剰	〃	）
設備投資 DI	＝	（拡大	〃	）	－	（減少	〃	）
業　　況 DI	＝	（好転	〃	）	－	（悪化	〃	）

前年同期比（全企業DIの３か年の推移）

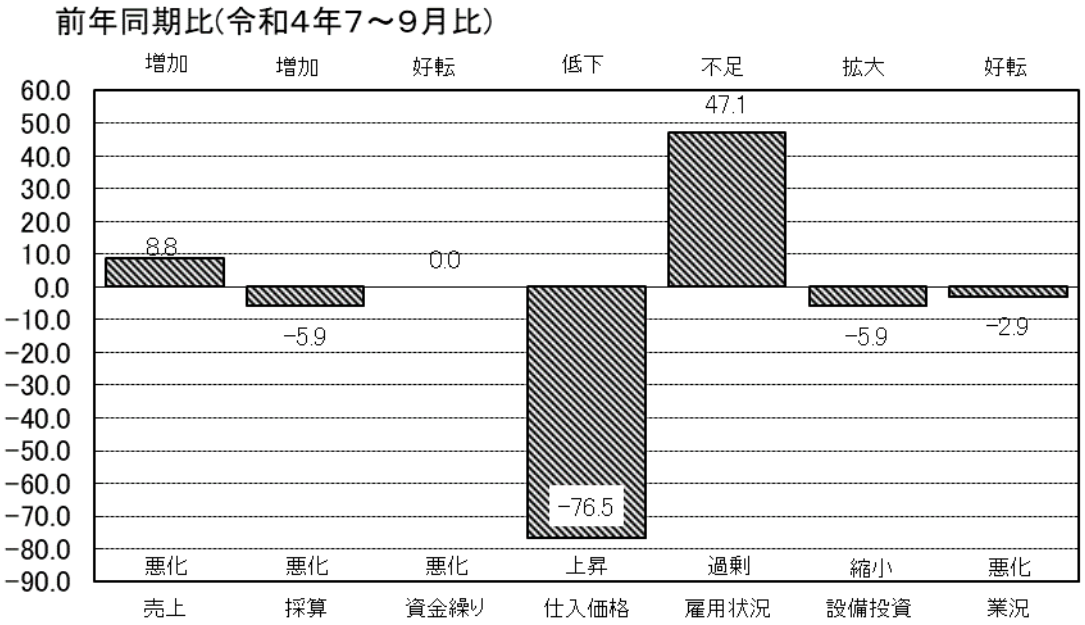


	19・1-3	19・4－6	19・7-9	19・10-12	20・1-3	20・4-6	20・7-9	20・10-12	21・1-3	21・4-6	21・7-9	21・10-12	22・1-3	22・4-6	22・7-9	22・10-12	23・1-3	23・4-6	23・7-9
売上	-38.7	-13.5	-33.3	-38.7	-38.7	-50	-50	-30	-33	-10	-24.3	-18.9	-12.8	-9.1	-8.6	-18.2	-18.2	38.2	8.8
採算	-16.1	-13.5	-40	-16.1	-16.1	-43.3	-33.3	-36.7	-43.3	-6.7	-21.6	-24.3	-20.5	-27.3	-20.0	-30.3	-30.3	8.8	-5.9
資金繰り	-16.1	-13.5	-20	-16.1	-16.1	-36.7	-23.3	-40	-16.7	-16.7	-32.4	-16.2	-15.4	-15.2	-14.3	-21.2	-21.2	8.8	0.0
仕入価格	-35.5	-35.1	-36.7	-35.5	-35.5	-20	-16.7	-26.7	-40	-53.3	-45.9	-59.5	-56.4	-69.7	-68.6	-72.7	-72.7	-76.5	-76.5
雇用状況	32.3	32.4	30	32.3	32.3	6.7	10	16.7	26.7	23.3	21.6	29.7	15.4	24.2	20.0	18.2	18.2	29.4	47.1
設備投資	0	-10.8	3.3	0	0	-16.7	-6.7	-10	3.3	-23.3	-16.2	-5.4	-12.8	-15.2	-2.9	3.0	3.0	-8.8	-5.9
業況	-12.9	-13.5	-30	-12.9	-12.9	-36.7	-40	-23.3	-20	-10	-29.7	-18.9	-20.5	-15.2	-17.1	-33.3	-33.3	26.5	-2.9

３．市内の景気動向（全業種）

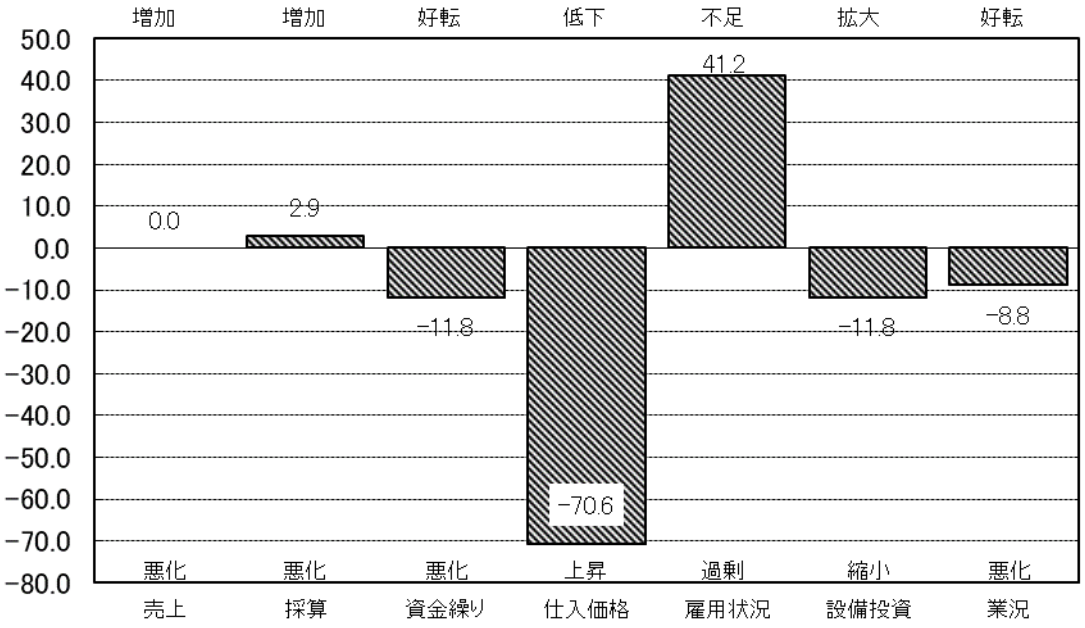


前期（令和５年４月～６月）と比較すると、特に仕入価格の上昇についての回答が多かった。原油価格の高騰や円安による物価上昇の影響を受けており、前期比と比べて業績が悪化したと回答している事業所が多かった。また、雇用状況が不足している事業所も多く、人件費高騰の回答も見られた。



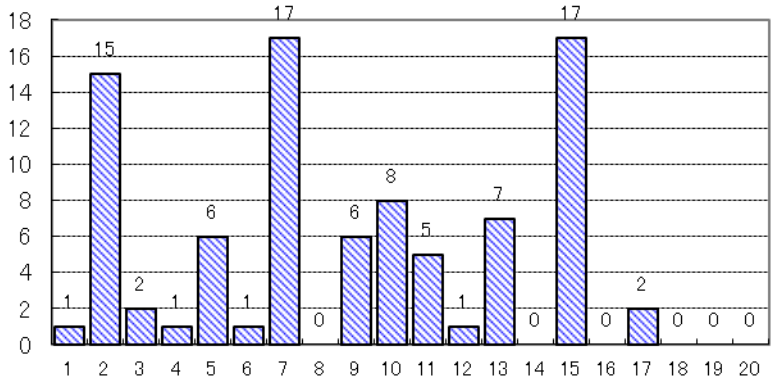
前年同期と比較すると、特に仕入価格の上昇についての回答が多かった。原油価格の高騰や円安による物価上昇の影響を受けており、前年比と比べて業績が悪化したと回答している事業所が多かった。また、雇用状況が不足している事業所も多かった。また、前年と比べて猛暑だったため、売上に影響がある業種もあった。

来期見通し(令和5年10～12月見通し)



来期の見通しでは、仕入価格の上昇、燃料や人件費の高騰により採算や資金繰りの見通しが立たないという回答が多かった。依然として一部の資材の納入遅延が続いており、その景況が懸念されるという回答している事業所が多い中、大きな受注予定がある業種もあり、好転の回答も見られた。

4．経営上の問題点（全業種）



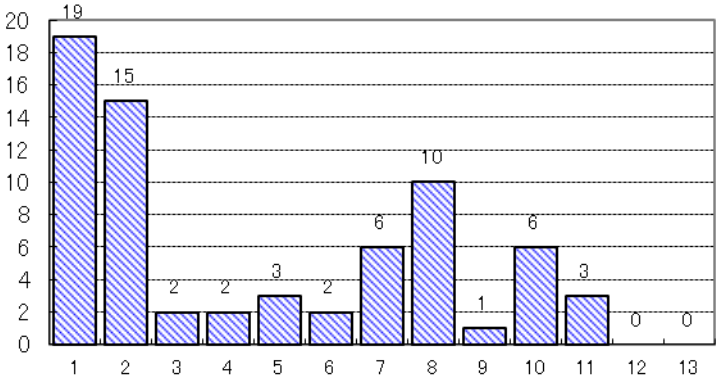
順位

１位	7. 原材料（仕入単価）価格の上昇
１位	15. 従業員の不足
３位	2. 需要の停滞
４位	10. 人件費の増加
５位	13. 熟練技術者（従業者）の不足

項目一覧

1. 県外大手企業の進出による競争の激化
2. 需要の停滞
3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
4. 新規参入業者の増加
5. 生産設備の不足・老朽化
6. 製品ニーズの変化
7. 原材料（仕入単価）価格の上昇
8. 生産設備の過剰
9. 原材料・人件費以外の経費の増加
10. 人件費の増加
11. 製品（販売）単価の低下・上昇難
12. 原材料の不足
13. 熟練技術者（従業者）の不足
14. 金利負担の増加
15. 従業員の不足
16. 事業資金の借入難
17. 商品在庫の過剰
18. 取引条件の悪化
19. 為替相場による海外製品との競争激化
20. 代金回収の悪化

5．今後の対応策



順位

１位	1. 従業員を新規雇用したい
２位	2. 生産性を向上させたい
３位	8. 新規市場を開拓したい
４位	7. 新製品の開発を行いたい
４位	10. 経営の多角化を行いたい

項目一覧

1. 従業員を新規雇用したい
2. 生産性を向上させたい
3. 人件費を削減したい
4. 生産調整を行いたい（操業短縮など）
5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など）
6. 金融機関から資金を調達したい
7. 新製品の開発を行いたい
8. 新規市場を開拓したい
9. 業種転換を行いたい
10. 経営の多角化を行いたい
11. 下請発注を減らしたい
12. 海外へ生産拠点を移したい
13. 海外から原料・部品を調達したい

6．国・県への要望

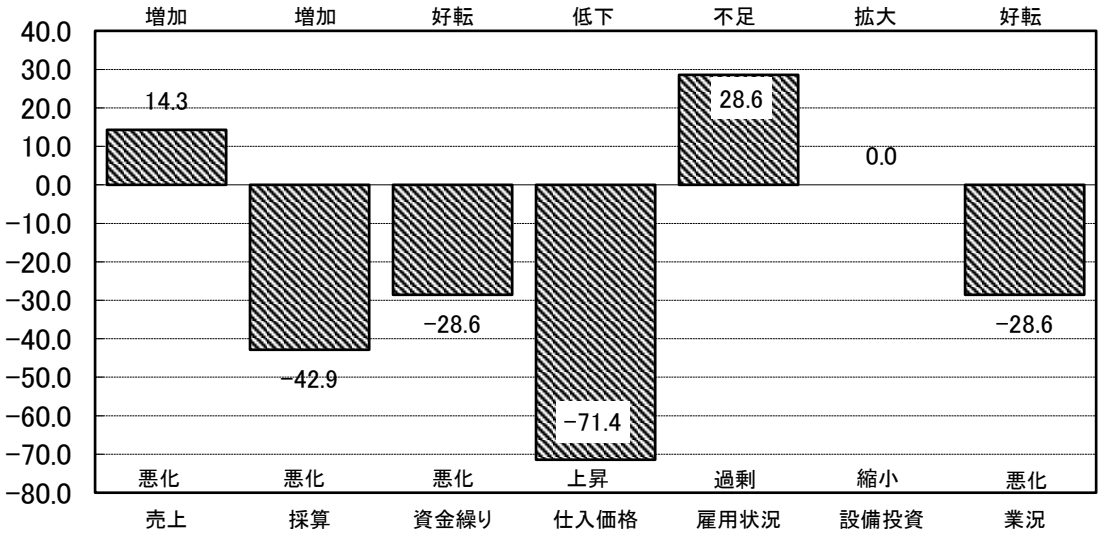
業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	コンクリート製品	日南	値上げの対策
建設業	建設業	日南	全体的に賃金（収入）は増加しているが、それ以上に物価が高騰しているように感じています。
建設業	土木建設業	日南	東九州自動車道が日南迄開通したので、これから南郷・串間に向けて期待している。
卸売業	建築資材卸	日南	現状としては円安が進みすぎているように感じます。
小売業	小売業	日南	景気回復の兆しは見えず人出は増えているものの購買意欲は低迷のままの様に感じる。生活必需品、インフラの値上げ等が関係しているのではないかと思われるので行政でしっかり調整して欲しい。
小売業	サービス業	日南	インボイス制度が導入されることにより、事務作業の増加が目立つ傾向にあり、負担が増している為、制度の見直しなどを考えていただきたい
小売業	事務用品販売	日南	中小企業にとって負担増となる法律が多く（インボイス・電帳法）ただ担に仕事量が増えただけで、それが売上増には全くつながっていない。むしろこの対応に時間をうばわれていつもの仕事ができない。
小売業	百貨店	日南	プレミアム商品券、キャッシュレス対策等一時的な効果はあるが、抜本的案はなし。
小売業	飲食小売業	日南	インボイス対応にいまだに追われている。免税事業者は高齢者が多いので 3 年の特別措置が経過したら廃業される方が多くなるとみている。
サービス業	タクシー	日南	補助金の設定を業界に対して増加して頂きたい 人材確保の為条件を再考して頂きたい

サービス業	総合コンサルティング	日南	・社会保険料を上げない！賃上げしてほしければ手取りが上がる対策をすべし。医師会とちゃんと対待して政府はメスをいれてほしい。 ・最賃を上げるのは大歓迎！経営者保険をはずす方針も素晴らしい。 ・103 万円の壁を解消したのは（遅かったけど）goodjob！2 年の猶予とかしょっぱいこと言わないで欲しい。 ・インボイスとか 2800 億円の税収のために民間側にそれを大きく越える負担が発生するのは誰得なんですか？ ・ライドシェアはホントに早くやってほしい。タクシーがいないことを考えるとやすやす飲みに行けない。 ・保険料上げすぎ！なんでもかんでも閣議決定でやろうとしない！社会保障費を削除する努力をすべし！

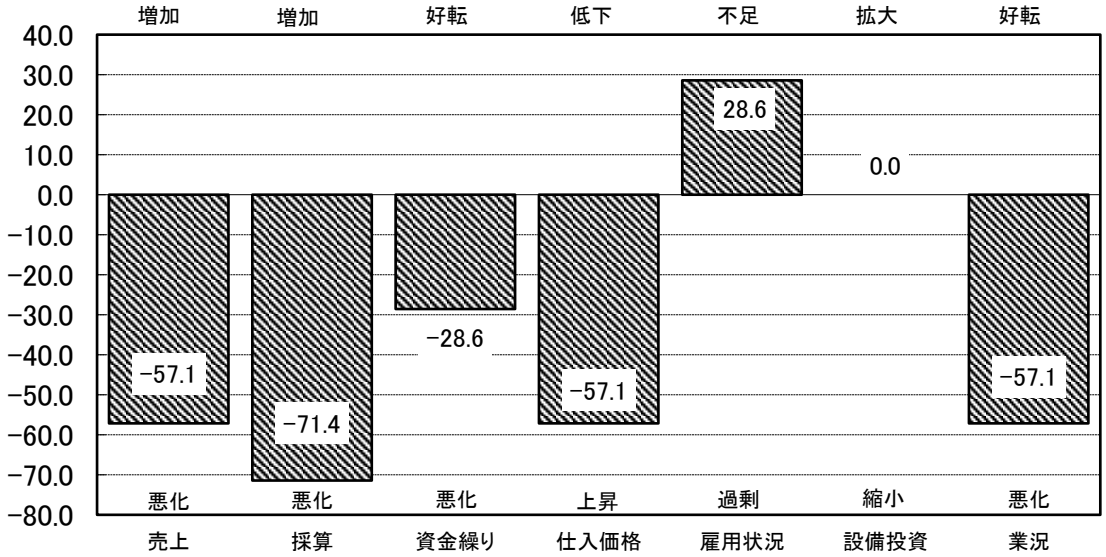
5. 業種別の景気動向

(1) 製造業

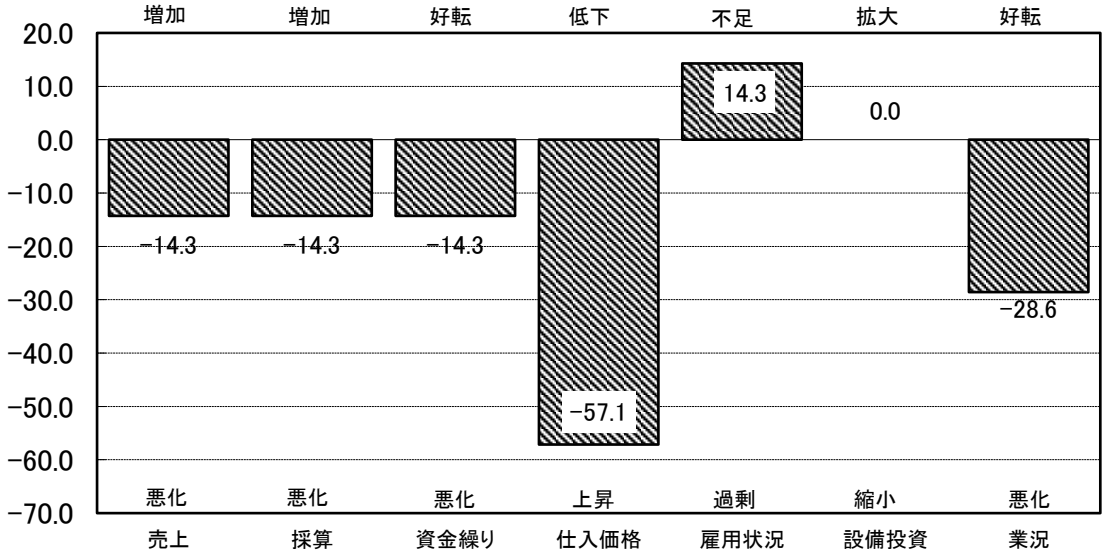
前期比(令和5年4～6月比)



前年同期比(令和4年7～9月比)

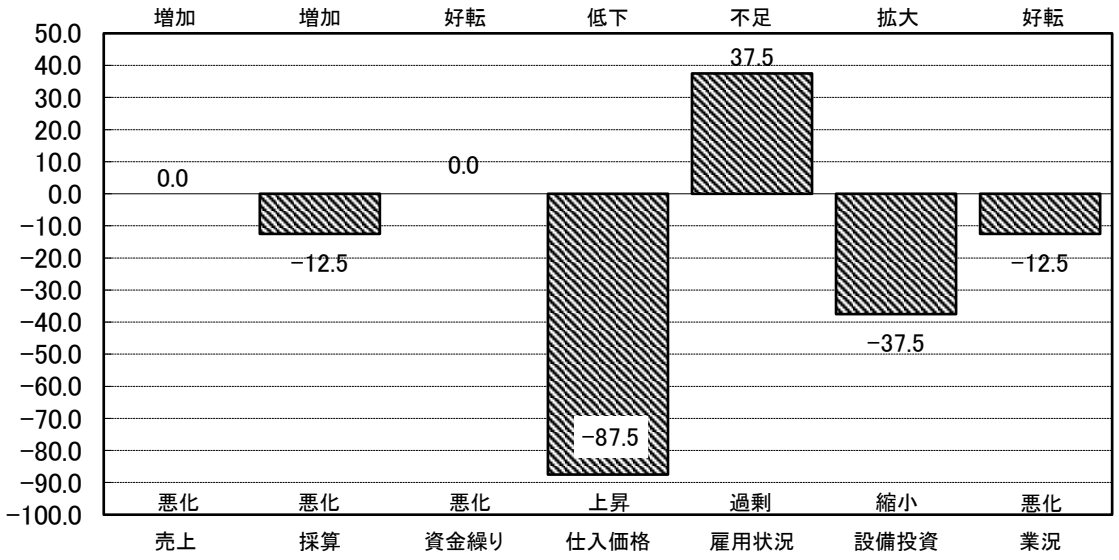


来期見通し(令和5年10～12月見通し)

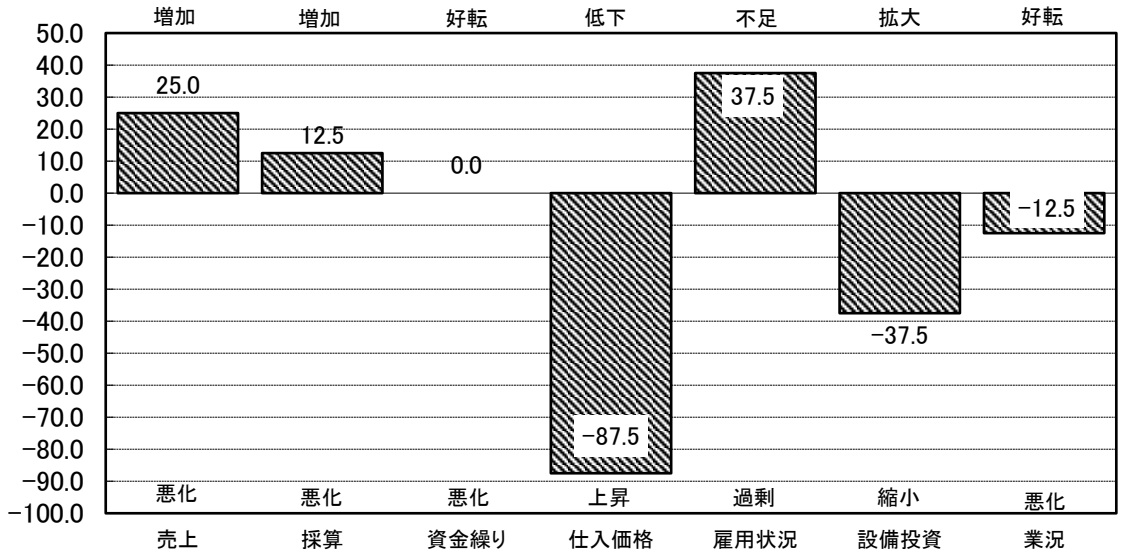


(2) 建設業

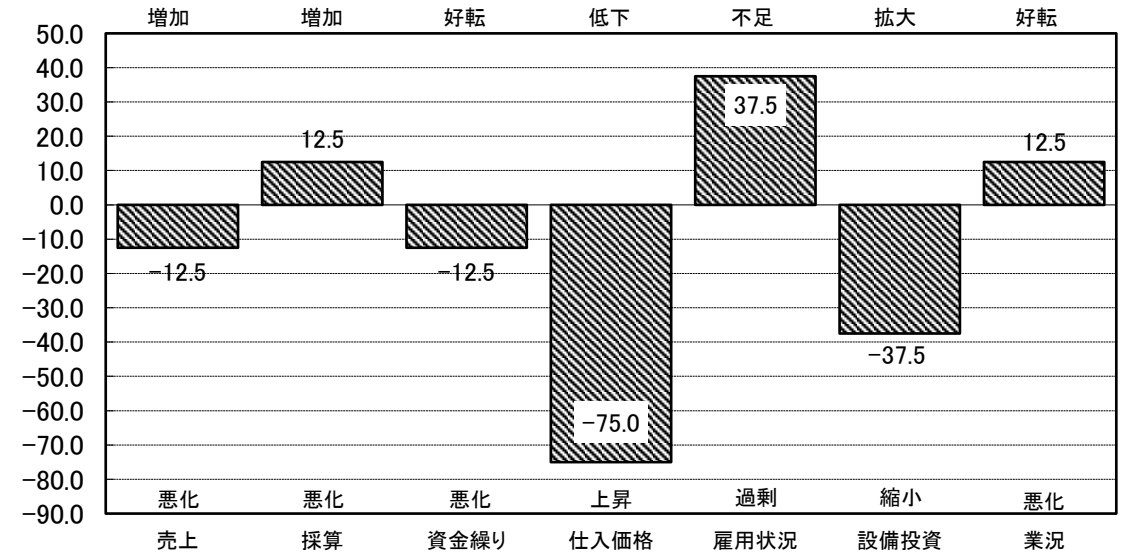
前期比(令和5年4～6月比)



前年同期比(令和4年7～9月比)

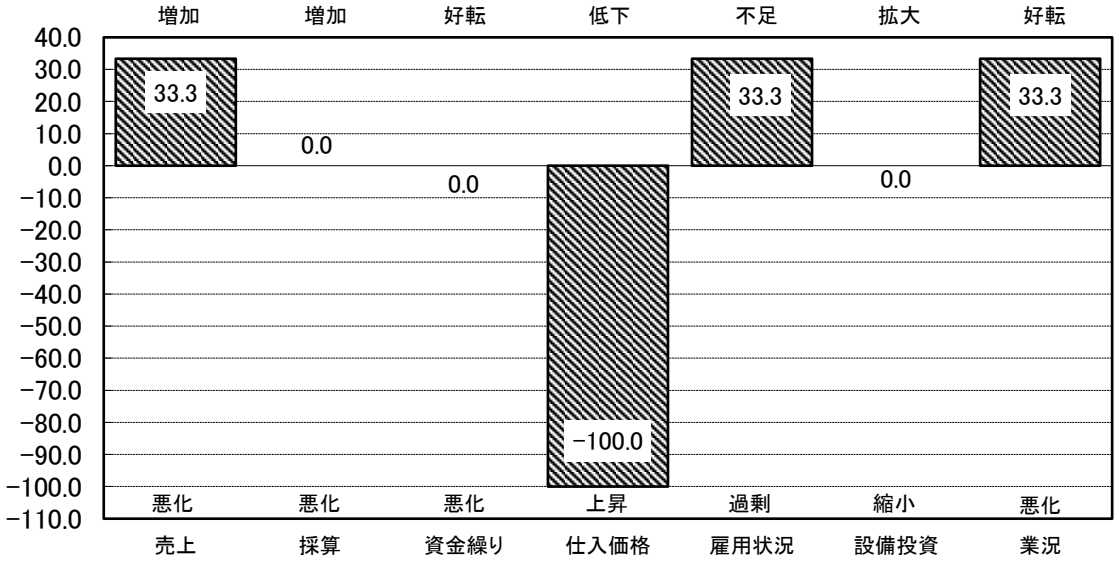


来期見通し(令和5年10～12月見通し)

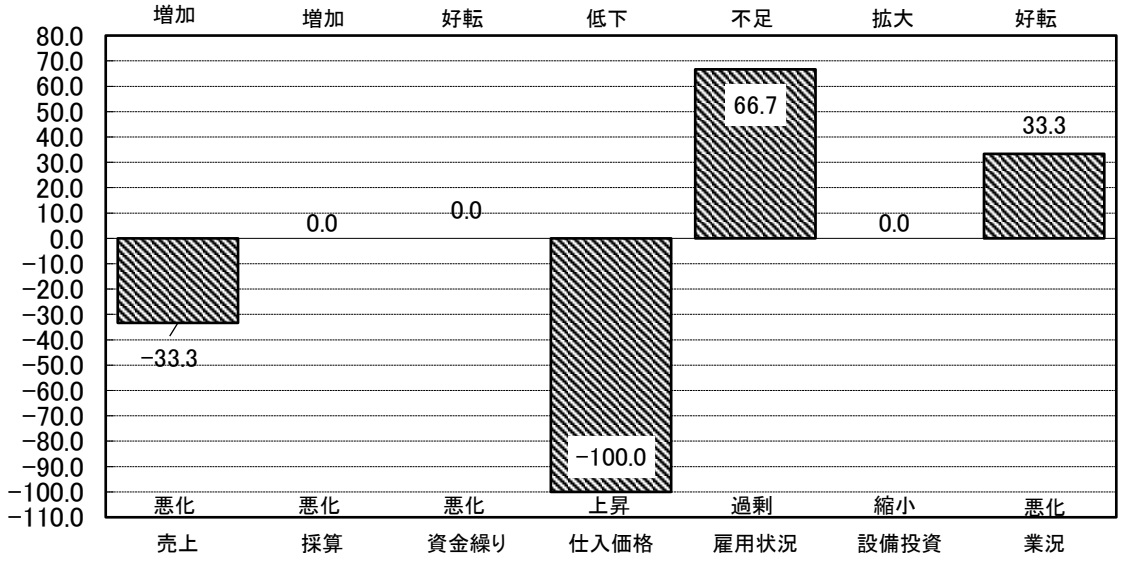


(3) 卸売業

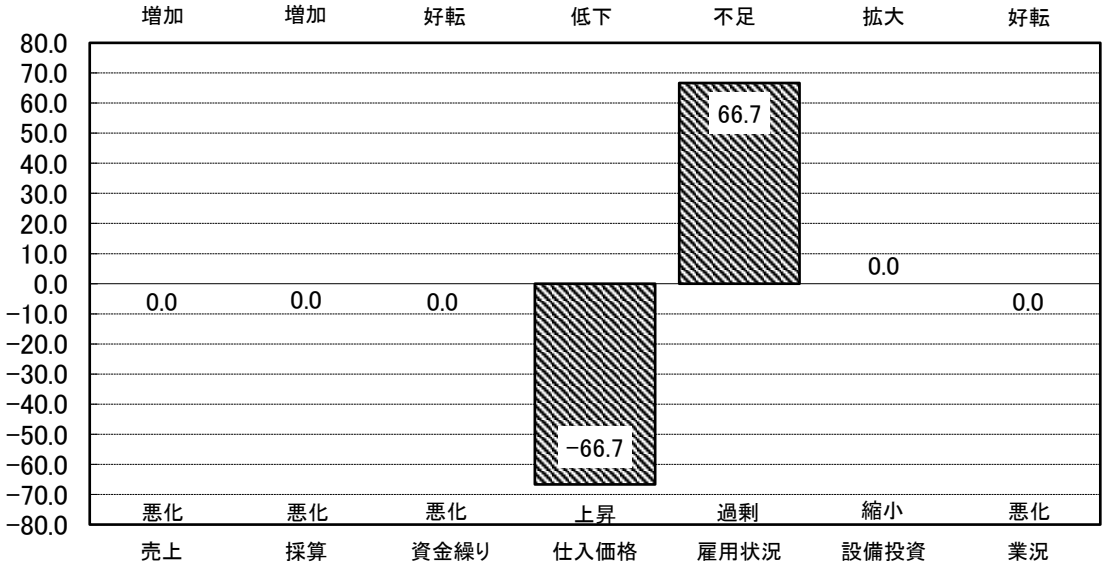
前期比(令和5年4～6月比)



前年同期比(令和4年7～9月比)

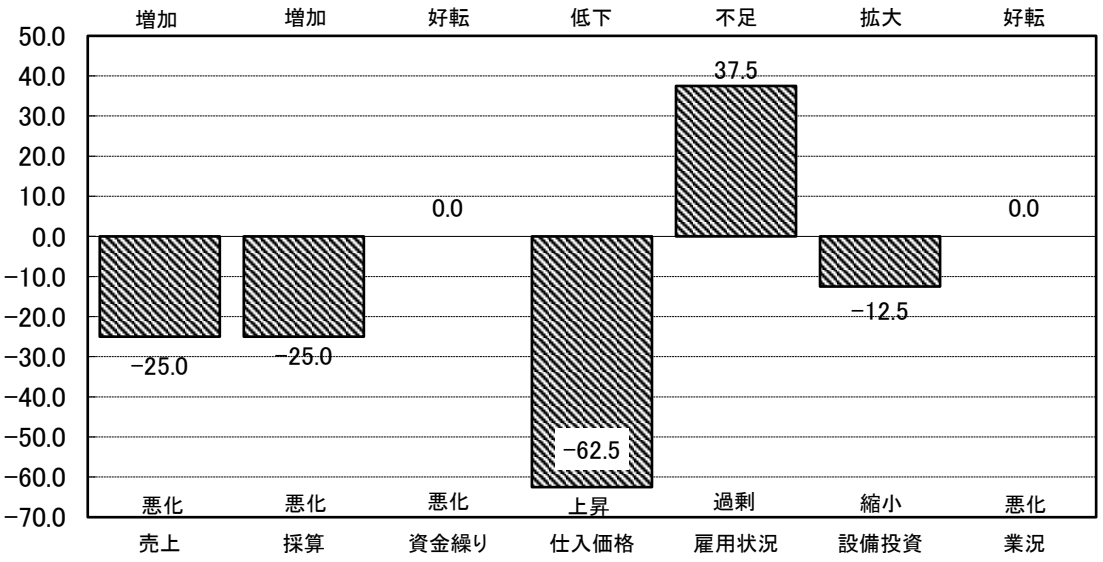


来期見通し(令和5年10～12月見通し)

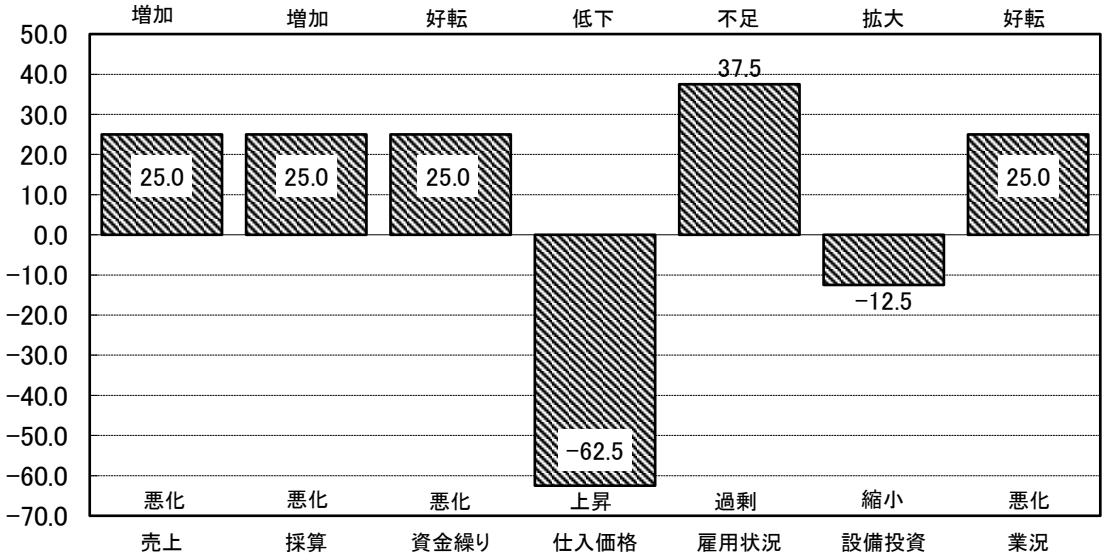


(4) 小売業

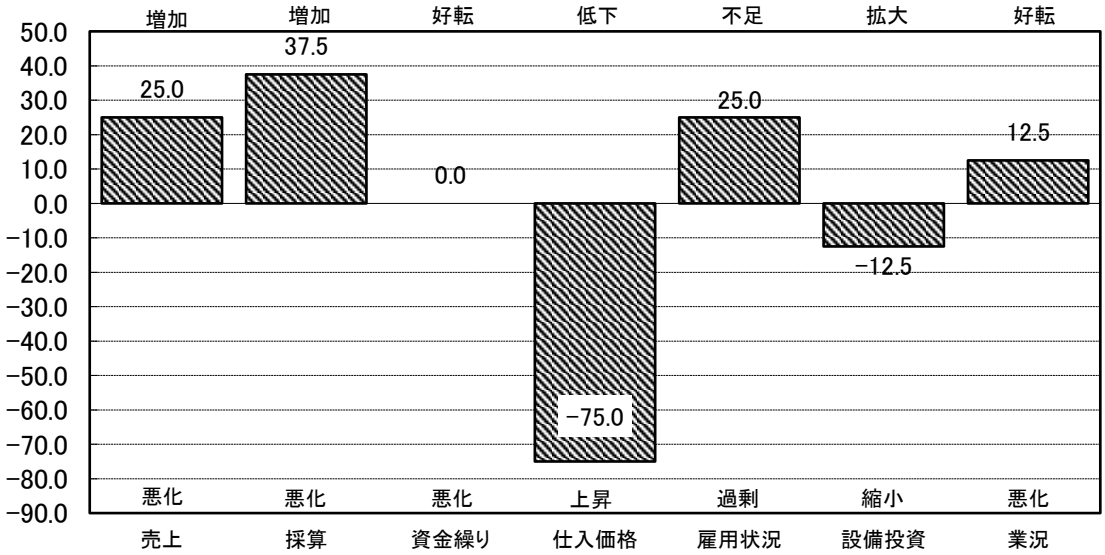
前期比(令和5年4～6月比)



前年同期比(令和4年7～9月比)

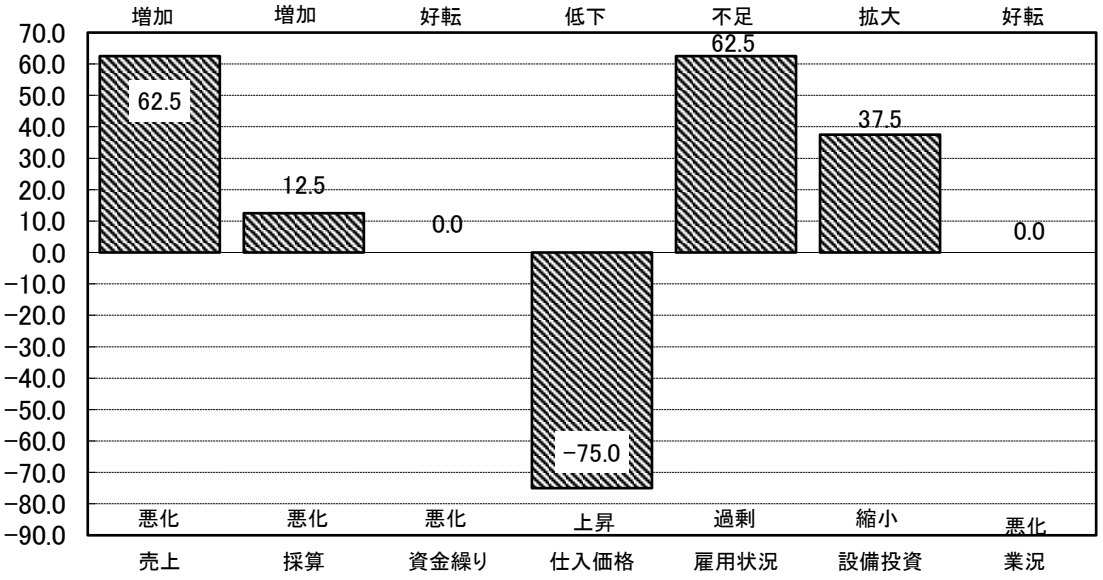


来期見通し(令和5年10～12月見通し)

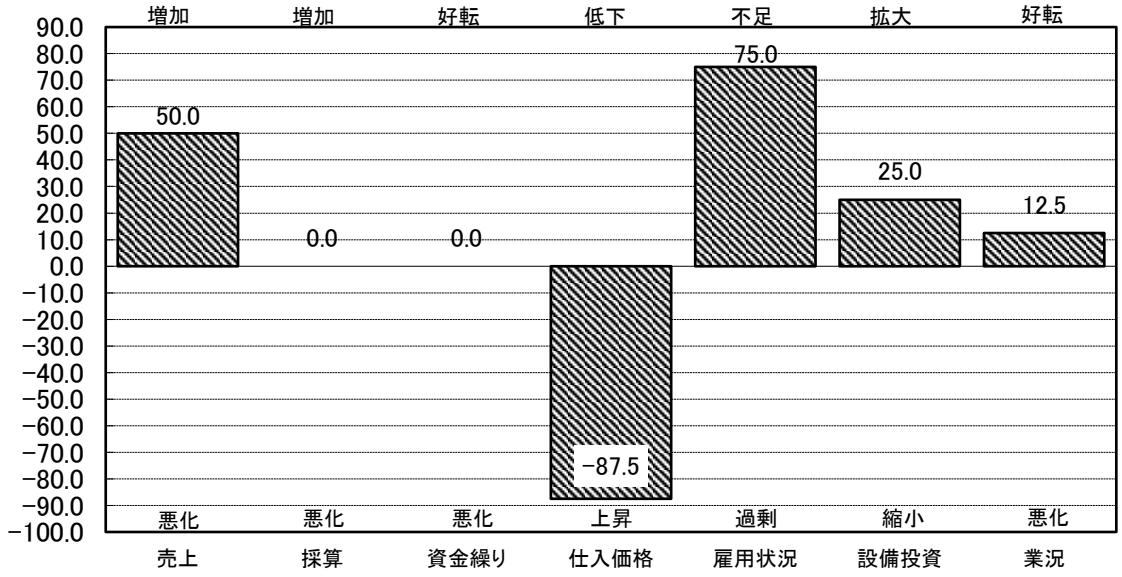


(5) サービス業（飲食関連・観光関連を含む）

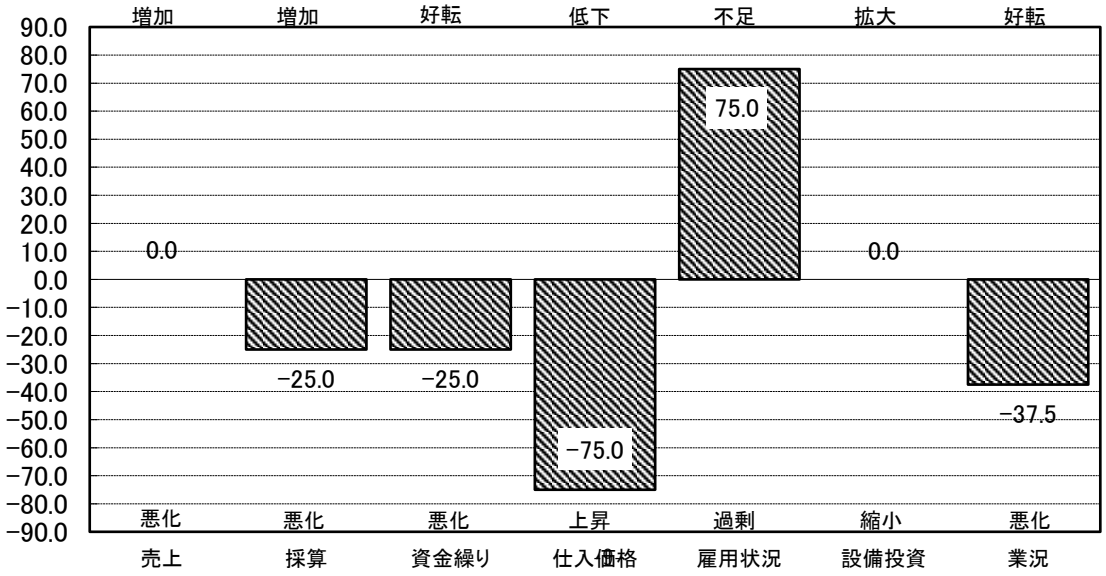
前期比(令和5年4～6月比)



前年同期比(令和4年7～9月比)

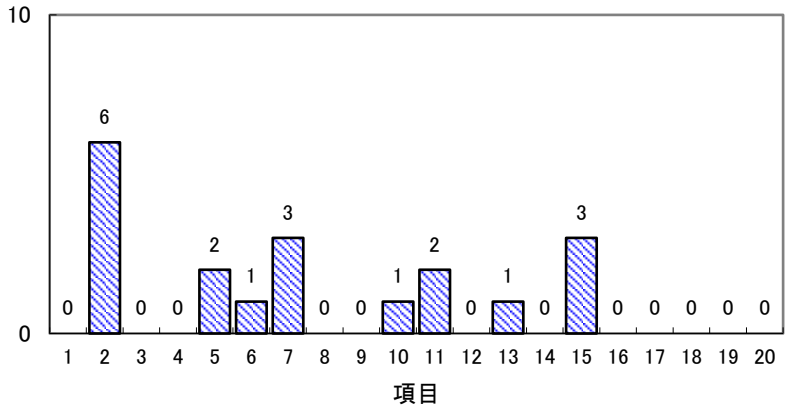


来期見通し(令和5年10～12月見通し)



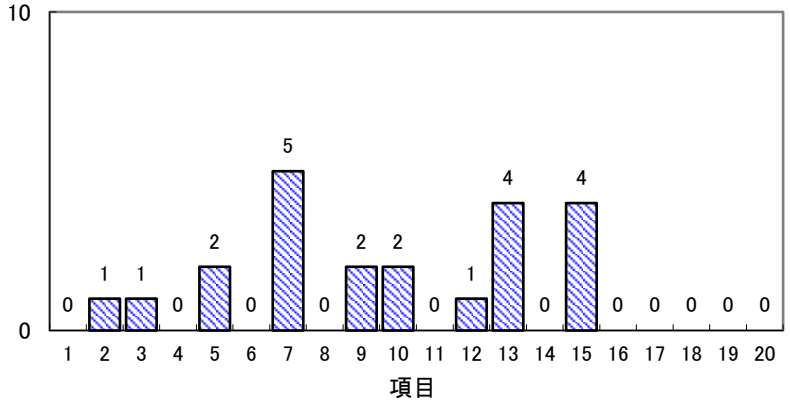
6. 経営上の問題点

製造業



順位
1位 需要の停滞
2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
3位 従業員の不足
4位 生産設備の不足・老朽化
5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

建設業

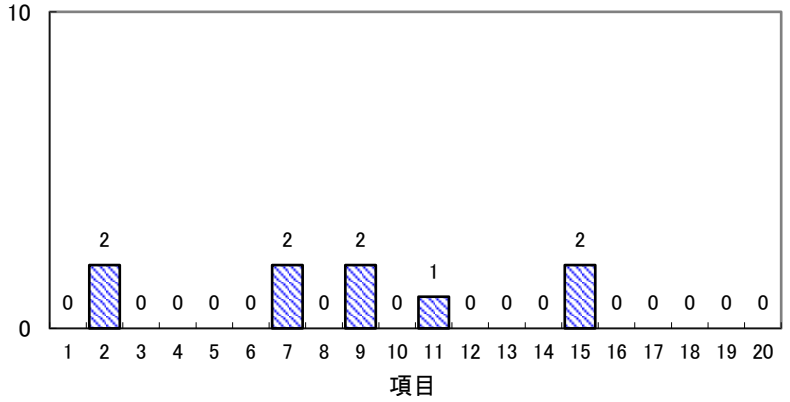


順位
1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
2位 熟練技術者(従業者)の不足
3位 従業員の不足
4位 生産設備の不足・老朽化
5位 原材料・人件費以外の経費の増加

項目一覧

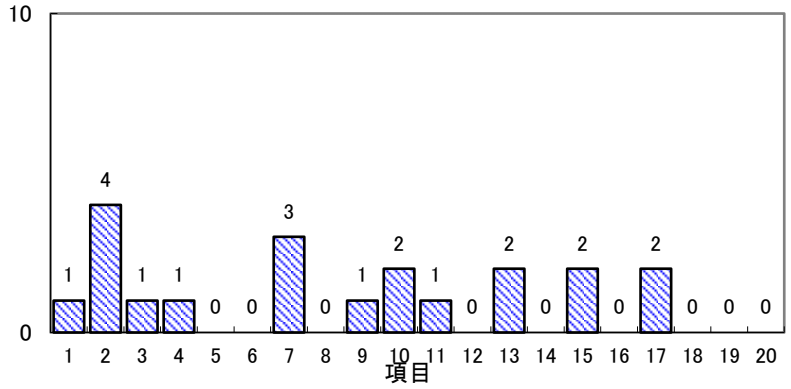
1. 県外大手企業の進出による競争の激化
2. 需要の停滞
3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
4. 新規参入業者の増加
5. 生産設備の不足・老朽化
6. 製品ニーズの変化
7. 原材料（仕入単価）価格の上昇
8. 生産設備の過剰
9. 原材料・人件費以外の経費の増加
10. 人件費の増加
11. 製品（販売）単価の低下・上昇難
12. 原材料の不足
13. 熟練技術者（従業者）の不足
14. 金利負担の増加
15. 従業員の不足
16. 事業資金の借入難
17. 商品在庫の過剰
18. 取引条件の悪化
19. 為替相場による海外製品との競争激化
20. 代金回収の悪化

卸売業



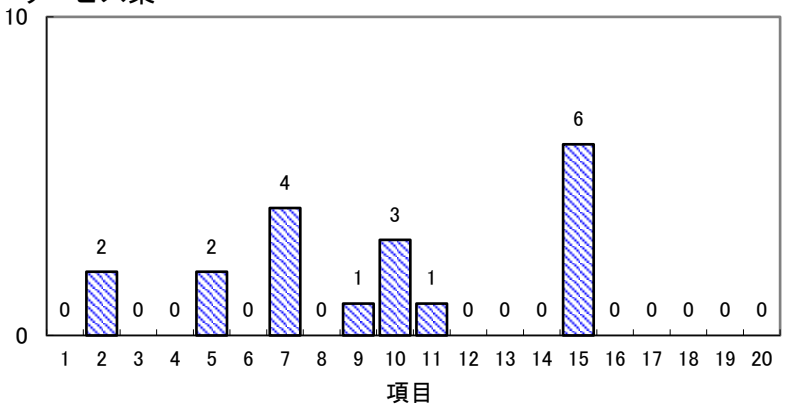
順位
1位 需要の停滞
2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
3位 原材料・人件費以外の経費の増加
4位 従業員の不足
5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

小売業



順位
1位 需要の停滞
2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
3位 人件費の増加
4位 熟練技術者(従業者)の不足
5位 従業員の不足

サービス業



順位
1位 従業員の不足
2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
3位 人件費の増加
4位 需要の停滞
5位 生産設備の不足・老朽化

項目一覧

1. 県外大手企業の進出による競争の激化
2. 需要の停滞
3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
4. 新規参入業者の増加
5. 生産設備の不足・老朽化
6. 製品ニーズの変化
7. 原材料（仕入単価）価格の上昇
8. 生産設備の過剰
9. 原材料・人件費以外の経費の増加
10. 人件費の増加
11. 製品（販売）単価の低下・上昇難
12. 原材料の不足
13. 熟練技術者（従業者）の不足
14. 金利負担の増加
15. 従業員の不足
16. 事業資金の借入難
17. 商品在庫の過剰
18. 取引条件の悪化
19. 為替相場による海外製品との競争激化
20. 代金回収の悪化